

全員 フィールドへ!

ボランティア

インターンシップ

フィールドワーク



経営学部 経営学科

公共政策コース



大阪成蹊大学
OSAKA SEIKI UNIVERSITY



◀ 経営学科公式 Instagram

コース紹介の記事と動画を見ることができます。▶



公共政策×SDGs～持続的な

SDGsとつながる地域の課題

国連が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは、すべての人々にとってより良い・持続可能な未来を築くための世界共通の「設計図」です。SDGsは遠い世界の話ではなく、その対象は貧困、健康、教育、まちづくり、環境など私たちの身の回りにあります。こうした身近な社会にある課題を発見し解決していくことが、SDGs達成のための一歩となります。

公共政策コースでは、SDGsを学びの目標の中心に置き、フィールドを舞台に経験豊かな専門教員から学び、多彩な進路に進むことができます。あなた自身が持続的な未来を築く「公共人財」となる夢を実現しませんか。



地域の課題を解決できる人財の育成!



公共政策コースでの学びが、就職活動に活かされています!



日本電波工業 内定

髭野 太一さん
大阪府立刀根山高等学校出身

海外からビジネスで日本に貢献!

メーカーに勤務していた祖父への尊敬と、海外から日本に貢献したいという思いから日本電波工業株式会社への就職を志望しました。就職活動では、公共政策コースで受講した授業が役に立ちました。1年生からゼミ(「成蹊基礎演習」や「専門演習」)があり、その授業はPBL(課題解決型学修)が中心で、自ら考え、その結果を表現する機会が多くありました。そして、自らの成長につながり、就職活動での自己アピールにも繋がりました。

また、グループワークなどの学修機会を通じて、私自身の至らない点や人よりも得意だと思えることなどを発見できました。さまざまなことを考え直す機会にも恵まれているため、充実した大学生活を過ごせました。



大阪府警 内定

辻本 寿幸さん
奈良県立五條高等学校出身

警察官として地域に安心な日常を!

警察官になることは、子どものころからの夢でしたが、公共政策コースで学ぶ中で、さまざまな地域の住民の生活に触れ、そうした人々の幸せな日常を守りたいという気持ちがどんどん強くなりました。公共政策コースでは、地域社会を作る社会の担い手として企業だけにとどまらず、行政の方とも一緒に地域課題の解決に向けた学修を通して、社会の理解とキャリア意識を深めました。

また、キャリアサポートとして公務員Passプログラムでの筆記試験対策や、武道の授業を通して柔道の初段を獲得できたことも、警察官試験に役立ったと思います。

未来を築く「公共人財」となる

公共政策コースの学びの特徴

人口が減少していく中、少子高齢化に伴う医療や福祉サービスの問題、空き家や空き地の増加、中心市街地の衰退などが、日本各地で発生しています。また、自然災害への備えや復旧・復興などさまざまな場で、住民が主体的に地域に関わっていく必要性が高まっています。このような状況において、子どもから高齢者まで、安心して暮らすことのできる社会を作るためには、これまで行政が提供してきた公共サービスだけでなく、住民や事業者などの参加による「新しい公共」を実現することが必要です。そのために、国や地域の課題を経営的な視点で捉え、多様な人々と協働してよりよい公共サービスを実現できる人財を育成します。

1 幅広く学ぶ

経営学

経営学、ビジネス会計、地域経営
公共経営、ソーシャルビジネス等

経済学

公共経済、財政
地域経済、応用経済等

法・行政・政策学

公共政策、公共データ、公法
政治学、公会計、自治体経営等

社会学

公共社会、地域協働、公共哲学
公共リスクマネジメント等

2 地域と交流しながら学ぶ



商店街に若者を呼び込む
(吹田市/旭通商店街)



公園でのまちづくりを考える
(茨木市/IBALAB@広場)

3 学生の個性にあわせた指導

- 定員40名に対して4人の専任担当教員
- 少人数ならではのアクティブラーニングが充実
- 学生の興味・関心に応えるゼミ活動



4 本学独自のダブルスクール

大阪成蹊大学公務員
Passプログラム

講座費 **無料**

※大学が負担。教材費のみで受講可能

学内・昼間に受講

※授業、サークルと無理なく両立可能

充実したプログラム

※1年生からスタート。基礎～試験対策まで!



近畿日本鉄道 内定

角田 眞志さん

京都府立西乙訓高等学校出身

鉄道から地域や社会に貢献!

私は、人と触れ合うことが好きで、かつ地域や社会貢献に繋がる職に就きたいと考えていました。そのような中、さまざまな人と関わり合いながらプラスαの価値の創出と提供に重きを置いて取り組まれている近畿日本鉄道に惹かれ、志望しました。

公共政策コースでは、授業内で地域の方々と接する機会を通じてコミュニケーション力が、また、さまざまな課外活動を通じて周囲を見る力が、それぞれ身に付き、就職活動でのグループワークや面接の場で活かされたと思います。

就職後は、これら2つの力を活かし、さまざまなことに取り組んでいきたいと考えています。



北おおさか信用金庫 内定

松田 徹太さん

光泉カトリック高等学校出身

金融機関による地域の活性化!

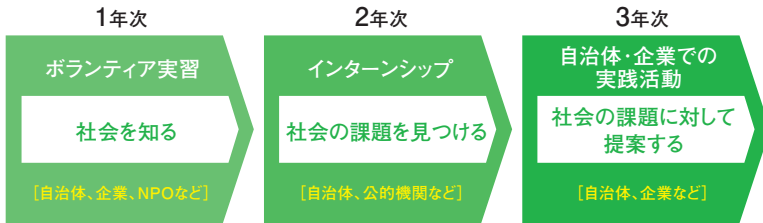
私は地域活性化について学びたく公共政策コースへ入学しました。学びの中で、まちづくりは行政だけでなく住民や地域の事業者が深く関わっていること、特に、地域の金融機関は、中小企業、商店を支える重要な役割を果たしていることを知り、信用金庫で地域の活性化に携りたいと考えました。就職活動を始めた時は右も左も分からない状態でしたが、地域課題に関する学びやグループワークの経験が役に立ちました。また、就職部での面接練習なども就職活動を支えてくれたと考えています。就職先でも公共政策コースで学んだことを活かしていきたいと思っています。

全員 フィールドへ！～自治体と連携できる本学独自の実践プログラム～

公共政策コースでは、1年次には、認定する機関（公共部門、民間部門、NPOなど）でのボランティア活動に参加することによって、視野を広めます。そして、企業社会だけでなく、地域社会でも貢献できるスキルを身につけます。そして、2年次、3年次には、連携協定を結んでいる自治体や公的機関へのインターンシップを実施し、より実践的な学びに取り組みます。

これらのボランティア活動やインターンシップは、一定の条件を満たすと単位認定されます。

公共政策コースでは、これらのプログラムを通じて、公共人財としての職業理解や就業意欲を高めます。



市役所での実務インターンシップ



市長へのインタビュー

学外活動：政策提案

本学は、地域課題を協働で解決するために多くの自治体等と包括連携協定を結んでいます。その一環として、公共政策コースでは自治体から課題の提示を受けて、学生がデータ分析やフィールドワークなどを行って「政策提案」を実施しています。

連携協定先：

大阪市（東淀川区・東成区）、茨木市、摂津市、豊中市、池田市、箕面市、吹田市、島本町、豊能町、川西市、長岡京市、茨木商工会議所

摂津市広報紙の特集記事を学生が企画・作成

大阪府摂津市と連携して、自転車に乗る際にヘルメット着用をPRする広報紙のコンテンツの提案を学生が行いました。学生は、駅での目視によるヘルメット着用調査や小学生へのアンケート調査などを実施したうえで、「ヘルメットをおしゃれなアイテムにするなど情報発信していくことが必要」と市長に提言しました。その内容は、特集記事として、摂津市の広報紙(2023年10月号)に掲載され、市長は「提言をヒントに、ヘルメットの着用率を上げて市民の安全につなげたい」と評価されました。



勝又 混平さん 大商学園高等学校出身

「自転車ヘルメット着用義務化」に向けた政策提案を進める中で一番大切にしたのは、実践のしやすさを第一に、市が行う事業として具体性を持たせることでした。また、一番の学びは、「ネットで調べて伝える」だけではなく、実際にヘルメットを着用している人をカウントして「+現場を知る」という部分です。そのうえで、実行性を重視して政策を考えた事が、摂津市長からの高評価につながったと思います。意識啓発として広報に掲載されたことは大変誇らしいことです。

“JR吹田駅前の活性化ビジョン”コンテスト最優秀賞受賞


JR吹田駅前の賑わい100周年を記念する「すいたライジングサン100イベント」の企画「ビジョンコンテスト～JR吹田駅前の活性化ビジョン～」に参加し、最優秀賞を受賞しました。学生たちは、JR吹田駅前地区の近未来のまちづくりを考え、子どもからお年寄りまで「住んで良かった・訪れて良かった」と思えるまちになるように、駅前広場の「芝生化」や自動運転の循環型AIバスの運行などを提案しました。審査員の皆様からは、地域の課題分析が論理的であること、課題を解消する具体的なアイデアであることなどが評価されました。



山口 美穂さん 大阪府立北かわち草が丘高等学校出身

2年生では、JR吹田駅前商店街において、商店街の活性化を政策提案する「公共政策フィールドワーク」を受講しました。商店街周辺では若い世代が多く住んでいるにもかかわらず世帯数は少ないなどの問題について学びました。今回のビジョンコンテストでは、それを踏まえて、ゼミ(専門演習3・4)のメンバーと「私たちが住みたくなるまち」をコンセプトに提案を行いました。そこでこれまでの学修の成果を発揮することができました。

公共政策コース 主要カリキュラム

	1年次 公共サービスの課題を知る	2年次 公共経営、政策形成を学ぶ	3年次 公共サービスの視野を広げる	4年次 公共サービスの課題を解決する
専門基礎科目	経営学入門 経営統計入門 会計学入門 地域経営入門 現代社会と公共哲学 現代産業論1	マーケティング入門 経営情報入門 地域協働論 経済学概論 公共経営論 公法I	経営管理論 管理会計 商品開発論	経営戦略論 政治学
専門基礎科目		都市計画まちづくり論 公共社会学 公共経済学 公共データ分析 公法II	公共社会学 公共政策フィールドワークI 公共政策論I 公会計論 財政学	
専門基礎科目			消費者行動論	人的資源管理論 知財マネジメント
基幹科目				
展開科目	少人数教育で個別サポート		公共政策論II 危機管理論 地域経済学 公共政策フィールドワークII	ソーシャルビジネス論 自治体経営論 応用経済学
演習科目	卒業研究の作成	専門演習1 卒業研究に向けた基礎知識の修得	専門演習2 専門演習3 専門演習4 テーマと研究目的の提出	専門演習5 研究計画・研究方法の提出 専門演習6 中間発表会 卒業研究提出 研究発表会
大阪成蹊大学の公務員のためのプログラム	入門講座 学修サークル	本講座I 個別カウンセリング	本講座II 論文文・面接対策	

※カリキュラムは予定であり、変更される場合があります。 ※履修年次はモデルです。

公務員をめざす人を応援します。

公務員になるための勉強を徹底サポート!

最新の公務員試験の動向を踏まえ、以下の3つの試験対策を徹底サポートします。

①数的処理や文章理解などの「筆記試験対策」②公共課題に関する「論文作文やエントリーシート作成」③人物重視が進む「面接対策」。また正課授業でのプレゼン、グループワークや担当教員による指導も行います。

3つのポイント

Point 1 担当教員による
1 きめ細かな個別サポート

学生一人ひとりに担当教員が対応し、学修相談や進路相談に応じます。

Point 2 時間も費用も節約できる
2 学内ダブルスクール(大阪成蹊大学公務員Passプログラム)

- 外部専門業者(LEC)の講座を学内で受けられます。
- LEC東京リーガルマインド**
- 通常の授業時間帯に実施するので、時間を有効活用。
- 受講料は無料で教材の費用のみで受講可能。

Point 3 学習スペース
3 学習スペース

学習室には参考書・問題集が完備され、静かな環境で勉強に集中できます。

大阪成蹊大学公務員 Pass プログラム



学内で受講できる

※対面講座

講座費無料

※教材費のみ負担

全講座フォロー

※オンデマンド配信あり

※公務員試験対策など実績豊富な東京リーガルマインドと提携

- Passプログラムは、1年次「入門講座」、2年次「本講座I」、3年次「本講座II」の3講座で構成しています。
- 民間企業への就職にも役立つ「SPI対策」を充実し、入門講座や本講座Iでは、問題演習を中心に学修します。
- 本講座IIでは、公開模試を受験し、自分の実力を測りながら、受験に向けて実力を高めます。
- 対面授業の他に、オンデマンド配信もあり、自分の都合に合わせて受講できます。
- わからない問題は、講師の先生に直接質問できます。また、個別面談も実施します。

資格などの取得も応援します!

めざす資格など

- 行政書士
- ビジネス実務法務検定®2級・3級
- 宅地建物取引士
- リテールマーケティング(販売士)2級・3級
- 日商簿記2級・3級

取得可能な教員免許状・資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(商業)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 学校図書館司書教諭資格^(※1-2)

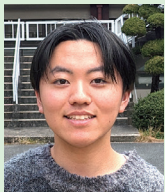
※1 中学校・高等学校教諭一種免許状いずれかの取得者に限ります。

※2 コースで定める必修および選択の授業科目を修得した上で、かつ資格取得に必要な授業科目を修得することにより取得できます。

授業ピックアップ

1 地域経営入門 **地域から学び、「地域の課題」を知る**

私たちに、もっとも身近な「地域」について、基本的な仕組みや市町村などの行政、各種団体、企業、住民の役割などを学びます。また、実際に地域で活躍する方々の話を聞いたり、活動の場を見学して、地域の現状や課題について理解を深めたり、フィールドワークの手法を学びながら課題解決に向けた糸口を探ります。



小椋 恵太さん 大阪府立大冠高等学校出身

私は、地域経営入門で地域の課題解決について考えることへの重要性を学ぶことができました。授業を通して普段の生活からは考えられない地域の深刻な現状や課題を知っていく内に、地域の課題解決に貢献するためには学生である自分が、今、何をすることが最善なのかを能動的に考えられるようになり、自分が生活している地域の見方も変わりました。

2 地域協働論 **地域社会、NPO、事業者、自治体による協働のまちづくりを進める**

公共的な問題や課題の解決は、国や地方自治体だけで進めることはできません。社会に関わるさまざまな人、団体が、目標を共有し連携して取り組むことがますます重要になってきています。住民やNPOの計画づくりへの参加や、実際のまちづくり活動の様子を学びながら、それぞれの特色を活かした協働のまちづくりを進めていくために必要なことなどを考えていきます。



山本 菜さん 大阪成蹊女子高等学校出身

この授業では協働とはどういうものなのか、また、どのようにして地域づくりに行政だけでなく、市民も関わっているのかということ、主に、茨木市を具体的な例として取り上げて学びました。実際に、茨木市役所職員の方や茨木市市民活動センターの方にゲストスピーカーとして来ていただいて現場の生の声を聞くことができ、非常に貴重な経験となりました。

3 公共政策フィールドワークI **地域を歩きながら学ぶ**

自治体、NPO法人など実務担当者からの講義、定量データによる地域分析、フィールドワークなどを通じて、地域の課題を把握します。その後、地域の課題解決に向けて、インタビュー調査や事例研究を行い、グループワーク活動を通じて施策を検討します。検討した施策を関係者の方々に発表して、評価を受けるなど、地域課題に実践的に取り組みます。

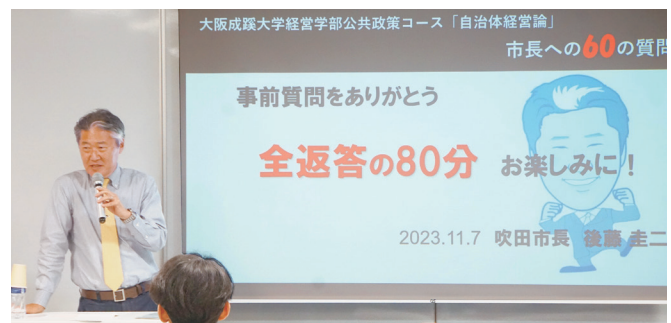


菅原 佳菜さん 箕面自由学園高等学校出身

公共政策フィールドワークでは実際に自分たちで現地に調査に行き、現状を知った上で課題に取り組みます。先生や講師の方から説明されたことだけでなく、自分の目で現地を見ることで、地域の良いところや、課題を発見することがたくさんありました。企画立案から提案までグループで行うため、楽しみながら学習でき、グループワークのスキルなども身につけられました。

4 自治体経営論 **自治体トップから改革に向けたリーダーシップを学ぶ**

自治体経営に必要な専門知識(組織、財政、会計、市民参加、経営改革等)を実践的に学びます。さらにトップマネジメントを担う自治体首長(令和5年度:大阪府吹田市市長・池田市市長)に特別講義を実施いただき、自治体の現状・課題の把握、課題解決のためのリーダーシップ、自治体経営の改革の必要性などについて学びます。



森田 香音さん 大阪成蹊女子高等学校出身

自治体経営論は、主に地方自治体の運営について考えを深める講義です。個人ワークを通じて知識を得て、グループワークで意見やそれぞれの見解を共有していくことが大変勉強になって楽しいです。また、ゲストに、吹田市市長、池田市市長をお招きした回では、公共政策実践の現場やトップマネジメントとはどういうものかということをお話しいただきました。

教員紹介

私たちが全力で学びをサポートします。

公共政策コースには、自治体や企業・公共的な団体等での豊富な指導経験や実務経験を持つ教員による実践的かつ少人数での教育が充実しています。将来の進路に向けて私たち教員が皆さんを全力でサポートします。

大島博文 教授

専門分野：公共経営
都市政策
地域防災



専門分野は公共経営、都市政策、地域防災です。銀行勤務の後、神戸市役所に入り、阪神・淡路大震災時に防災担当職員として災害対応、復旧・復興業務や人口減少時代の総合計画づくりなどに携わり、現在の研究対象にもつながっています。学生の皆さんとは大学内だけでなく一緒に外に出かけてさまざまな調査を行い、実際に地域や社会に役立つことを自治体や住民の皆さんに提案できたらと思います。

著書に、『参加と福祉のまちづくり』（共著、2005年）、『新しい公共経営の実践』（共著、2006年）、『自治体財政のムダを洗い出す』（共著、2014年）など

大塚康央 教授

専門分野：都市政策
まちづくり
地方自治



本学に来る前は、茨木市副市長でした。昭和50年代後半から関わった彩都、安威川ダムに始まって、平成時代は、住民参加のまちづくりを推進し、市職員生活の終盤は工場移転跡地の利用（立命館大学大阪いばらきキャンパスやJR総持寺駅の開設）に取り組みました。研究の主たる関心は、このような経験もあり、住民の合意形成です。暮らしやすい街、地域をつくり育てていくために、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

博士（創造都市）、技術士（建設部門：都市及び地方計画）。2011年度日本都市計画学会年間優秀論文賞受賞

兒玉圭司 教授

専門分野：日本法制史



私の専門分野は日本法制史といい、日本における法の歴史を扱っています。明治期以降、西洋法がどのような形で導入され、私たちの生活や意識がどう変わっていったのかを研究しています。これまで、地方公共団体や独立行政法人の委員を務めながら、地域社会や人々の暮らしと関わってきました。“まちづくり”は学生の皆さん自身も主人公です。どんな“まち”にしたいか、一緒に楽しみながら考え、実践していけたらと思います。

修士（法学）。著書に『教養としての憲法入門』（共著、2016年）、『法学概論（第2版）』（共著、2022年）など

荒木俊之 准教授

専門分野：都市計画
まちづくり
都市地理学



私は、長らく都市計画コンサルタントとして民間企業に勤めてきました。そこでは、地方自治体が掲げる都市の将来像やまちづくりの方針などを示した計画策定のお手伝いをしてきました。そのなかで、将来を担う若年層の意見が余り反映されていないことを実感しました。そこで皆さん学生とともに、大学の外に出掛けて地域の良さやまちづくりの課題を捉え、より良い都市や地域のあり方を一緒に考えて、自治体に提案していきたいと思っています。

博士（人間・環境学）。著書に『まちづくりのための中心市街地活性化』（共著、2016年）など

ゼミ紹介

地域政策研究室 大島 博文 教授

テーマ 自治体への政策提案を行い、現場に通じる実践力を養う

自治体などへのヒアリングや現地での調査を行い、政策提案を行う活動を行っています。2023年度は、大阪府摂津市において、自転車利用の安全性を高めるために、自転車に乗る際のヘルメット着用の実態調査やアンケート調査を実施し、その課題を分析したうえで、着用を促すような提案を摂津市長に行いました。学びを実践的な提案に結びつけることで社会的意義の高い取組みを行っています。



卒業生の進路(主な内定先)

地域を支える

市役所・警察・消防・自衛隊

吹田市役所、大阪府警、兵庫県警、奈良県警、自衛隊

建設・土木、不動産

東建コーポレーション、ミサワホーム四国、ホームネット、
ウィローズ、トップライズ、津田産業、アーキヤマデ

公共交通

近畿日本鉄道、日本交通

医療・福祉部門

保健科学研究所、nobitel(Dr.stretch)

商社

サンコーインダストリー

地域を育む

教員

兵庫県教員(講師)

製造業

日本電波工業、日本アクア

飲食業

イツ・コーポレーション、たこ焼き1-1

サービス業

エイジェック

地域を活性化する

金融

北おおさか信用金庫

公務員(市役所)に内定!

吹田市役所 内定

喜多村 航己さん

大阪府立
登美丘高等学校出身



私は市役所職員になることを目標に公共政策コースを選びました。入学後はさまざまな自治体と関わる機会をたくさん得ることができ、その中で志望先が固まりました。特に「地域経営入門」や「公共政策フィールドワーク」、「自治体経営論」では各自自治体の職員の方々と深く交流させていただき、視野が広がり、就職活動の熱意が高まったと感じます。本コースでは、学ぶことに貪欲であった私に、先生方がさまざまな経験の機会を提供してくださいました。就職してからも、学ぶことに貪欲な姿勢は変えずに日々精進していきます。

公共交通機関に内定!

日本交通 内定

西村 香穂さん

大阪府立
吹田東高等学校出身



私は人々の暮らしを守り、より良くしたいと思い公共政策コースを選びました。4年間の学びの中では、授業や学外コンテストを通して地域や社会には複雑な課題が絡み合っており、さまざまな視点から捉える必要性を実感しました。就職活動を進めていく中で、直接地域の方々と関わる機会が多く、新しい発想を大切に実行していく姿勢に魅力を感じ、日本交通株式会社への就職を決意しました。公共政策コースは少人数教育が魅力で、積極的に挑戦できる環境がありました。そこでの学びは、自信にも繋がり、就職部の担当の方にも沢山サポートいただくことで、納得のいく就職活動となりました。今後は、地域や社会に貢献できるように大学での経験を活かしていきたいです。

アクセス

- 阪急京都線「相川」駅 東改札口を出て徒歩約5分(約300m)
- JR京都線「吹田」駅からスクールバスで7分、「相川」駅降車 徒歩約5分(約300m)
- 大阪メトロ今里筋線「井高野」駅からスクールバスで5分

お問い合わせ先

大阪成蹊大学 経営学部 経営学科 公共政策コース

〒533-0007 大阪市東淀川区相川3-10-62
Tel:06-6829-2554 Fax:06-6829-2601
E-mail:nyu@osaka-seikei.ac.jp(広報統括本部)
<https://univ.osaka-seikei.jp>

